

記憶の中の「生」再現プロジェクト 最終報告

この「生」という作品は大野さんが阪神・淡路大震災から10年目の2005年に発表した、武庫川の中州に石を積み上げ、「生」の文字をかたどったオブジェです。小説『阪急電車』(有川浩著)に重要なモチーフとして登場します。(あーと通信No.30で紹介)



12/5 「生」完成!



1/16 ライトアップされた「生」

今年は震災16年目、小説の映画化ということもあり、2006年に自然消滅したこのオブジェを再現するプロジェクトが、昨年11月より始動しました。大野さんを中心に本学学生と教員、宝塚市、そして市民ボランティアが参加し、多い時には100人を超えました。11月25日の現地視察の段階では雑草で荒れ果てていた武庫川の中州に、作業4回目の12月5日に「生」が見事に再現されました。

このプロジェクトは新聞、TV各社のメディアで大きく取り上げられました。ライトアップされた日の宝塚大橋には「生」を一目見ようと集まった多くの市民でにぎわいました。

宝塚市政策推進課のページでは、「生」が出来上がっていく様子の写真をスライドショーにした、メイキング映像が閲覧できます。

1月16日(震災前日)には宝塚市の犠牲者118名の人々を追悼する為に同数の懐中電灯を使ってライトアップが行われました。震災12時間前の17時46分には「生」のオブジェの前で黙祷が捧げられました。



記憶の中の「生」再現プロジェクトの詳細はこちらをご覧ください。

●美術News >> <http://bijyutsu.takara-univ.ac.jp>

●宝塚市政策推進課 >> <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>

HP内の検索バーで「生」と入力して検索!

宝塚大学 造形芸術学部 展覧会のお知らせ

●詳しくは大学HPをご覧ください。 >> <http://www.takara-univ.ac.jp>

春の造形展

2/17(木) ▶▶▶ 20(日)

■兵庫県立美術館
ギャラリースペース
■10:00~18:00
※初日は13:00から
最終日は15:00まで



卒業制作展・大学院修士課程修了制作展

2/22(火) ▶▶▶ 27(日)

アート・デザイン学科

美術史・美術理論/洋画/日本画/彫刻/ファッションデザイン/イラストレーション/ビジュアルデザイン&アドバタイジング/写真/建築デザイン/インテリアデザイン/プロダクトデザイン

■大阪市立美術館
地下展示室
■9:30~17:00

大学院 修士課程

ビジュアルアート&デザイン/芸術情報/基礎造形/伝統芸術/メディア・コンテンツ



関隆志特任教授 NHK公開セミナーのお知らせ



「大英博物館 古代ギリシャ展」の魅力と楽しみ方について、楽しく解説!

大英博物館 古代ギリシャ展HP
>> <http://www.body2011.com>

神戸市立博物館で3月から開催される「大英博物館 古代ギリシャ展」に関連するテーマについて、関隆志特任教授(美術史・美術理論)が講師として招かれます。

◆第1回 3月17日(木) 14:00~15:30

『ディスコポロス(円盤投げ)は、どのように作られたのか?』
兵庫県 神戸市東灘区民センター うらはホール
お問い合わせ:078-822-8333 (定員650名)

◆第2回 3月24日(木) 14:00~15:30

『神々、英雄、そしてオリンピックの美術表現』
大阪府 高槻市生涯学習センター
お問い合わせ:072-674-7700 (定員300名)

◆第3回 3月26日(土) 14:00~15:30

『ギリシャ古典考古学最前線、ギリシャ美術のロマンを探る』
大阪府 堺市立東文化会館
お問い合わせ:06-6833-8090 (定員180名)

◆第4回 3月31日(木) 19:00~20:30

『パルテノンからローマン・コピーまで』
大阪府 豊中市千里公民館
お問い合わせ:06-6833-8090 (定員100名)

◆第5回 4月9日(土) 14:00~15:30

『特選!ギリシャ美術の素晴らしきトリビア』
大阪府 松原市文化会館
お問い合わせ:0790-35-0700 (定員500名)

第42回日展

◆東京展:国立新美術館
2010.10.29(金)~12.5(日)

◆京都展:京都市美術館
2010.12.11(土)~2011.1.14(金)

◆大阪展:大阪市立美術館
2011.2.19(土)~3.21(月) 他

在学学生2人、卒業生1人が入選しました!

城戸啓吾さんは初入選、中川真一さんは2年連続、田中達也さんは3回目の入選です。

●入選



「忘却」 田中達也 (修士課程修了)



「ビルに映る」 中川真一 (修士課程1年)



「捕鯨船」 山田毅
(日本画講師 日展会友)



「門」 西敏彦
(日本画講師 日展会友)

第5回 奈良県万葉日本画大賞展

◆奈良県立万葉文化館 2011.3.10(木)~4.24(日)

奈良県万葉日本画大賞展では万葉集の和歌1首、または複数を取材した作品を公募しています。今回、中川さんは高市黒人(たけちのくろひと)の和歌を題材にしました。



●入選
「或る日」
中川真一
(修士課程1年)

【一巻五十八番】

いづく 何処にか 船泊すらむ 安礼の崎
あれ 安礼の崎
たを 漕ぎ廻み行きし 棚無し小舟

※今ごろ何処に泊っているだろう、先ほど安礼の崎を漕ぎ廻って行ったあの棚無し小舟は。

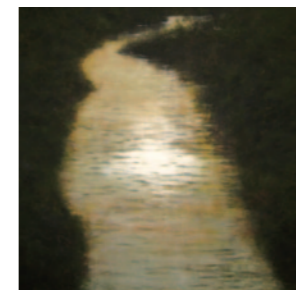
●中川さんのコメント

『朝、電車の車体に映る自分の姿に着想し、題材にする和歌を探していたところ、自分の行方を小舟に重ね孤独感や寂寥感を詠った黒人の和歌に強く共感しました。不安を抱きながらも大きな希望を持っている若者の姿を描きたいと思い制作しました。』

●会員出品



「刻々」 福本達雄
(本学名誉教授 日展参与)



「暮れゆく」 曲子明良
(日本画教授 日展会員)

美術の卒業生は今、こんなことをしています！

現代芸術家・高田雄平さん(2005年卒)



高田さんのHP >> <http://au-newspaper-dragon.jimdo.com>

龍などをモチーフにした巨大な作品が特徴です。在学時は当時教授だった嶋本昭三先生に師事し、現在もその影響で国内外で展覧会、パフォーマンス、イベント企画、ワークショップなどの活動をしています。国際現代芸術団体AUの会員。

香港で巨大な龍を展示！ →

「SAORI共融藝術展」(2010年9月11日～26日)香港の巨大ショッピングセンター「屯門市廣場(tmtplaza)」にて。

以前から「さをり織り」とコラボレーションして龍を制作している高田さん。

上海万博の日本商品館で展示した高田さんの龍の作品が、香港での展覧会に招待されました。香港のアーティストと日本のアーティストが共に手を取り、さをり織りを使用した全長20メートルの龍の作品を発表しました。



さをり織りで作られた龍の作品

国際現代美術団体AUの会員です。

公式HP >> <http://www.au-art.jp> 表現の舞台は世界に向けて！

AUとは、本学で教授を務めた世界的な前衛アーティスト、嶋本昭三先生率いる現代美術家の団体です。活動場所は日本だけでなく、アジア、ヨーロッパの各国、ベネチアビエンナーレといったような大きな芸術の祭典などにも招待されています。

高田さんと同じくAUのメンバーとして、現在も国内外に精力的に作品を発表している卒業生を紹介。

現代芸術家・八木智弘さん(2007年卒)



八木さんの作品

AU所属作家 「糸」を使った他にはない世界観で作品を制作。イタリアなど国外でも評価を得ている若手作家。近年ではインスタレーション作品や、野外での作品展示など、様々な新しい分野へ挑み続けています。芸法スタッフでもあります。

現代芸術家・松田明久さん(2009年修士課程修了)



松田さんの作品

AU所属作家・ワークショップ講師 卒業後、大学院でデザイン経営を専攻。現在は大阪市扇町キッズプラザの創作工房で造形美術担当の指導員として講師をしています。出張でアルミダクトの造形で子ども達とワークショップをすることもあります。AU展その他企画をすることもあり多方面で活躍しています。

デザイン事務所経営・越智竜也さん(2003年卒)

絵の技術を生かし、イラストレーターとして独立！似顔絵を使用した結婚式のウェルカムボード、名刺、携帯の壁紙などを制作するデザイン事務所を立ち上げています。



似顔絵ピーチハウス >> <http://peach-house.info/use.html>

CHECK!



龍の頭部 拡大

◆さをり織り◆ ウール、シルク、コットン、レーヨンなど様々な素材と色合いの糸を使って、ベースとなるタテ糸に、好きなヨコ糸を織り込んでいく手織り製法。60年代に大阪の主婦が考案したとされ、常識や既成概念にとらわれず、自由奔放に織っていく独特な製法であるため、その織り手にしか作れないオンリーワンの一枚が生まれるのです。

CHECK! 高田さんは、アート集団「芸法」のメンバーとしても活動しています。



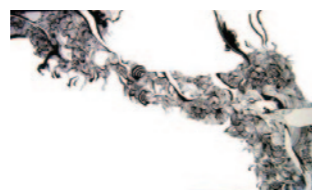
<http://geiho.com>

【活動コンセプト】

芸法は、アートを架け橋にした人のコミュニケーションを提案する活動グループ。地域の方や仲間と一緒にアートを体験・体験する事で、元気が届くと考えています。アートのチカラで、少しでも誰かに元気を届けられたら、という思いで、ちょっとした笑顔が増える世の中を目指して活動しています。兵庫県神戸市伊丹等を拠点に、展覧会、イベント企画、アートな演出を手掛けます。詳しくはWEBで！

芸法には、同じく卒業生が副代表で参加しています。

デザイナー・小國陽佑さん(2009年修士課程修了)



小國さんの作品

芸法 副代表 行政関係や民間企業のデザインの仕事をしながら、芸術活動をしています。人と人を繋ぐ、「コミュニケーションアート」を軸に作品制作を行っています。イタリア・ウクライナ・中国など国内外を問わず企画展示や制作をおこない、幅広く活動しています。

ゲーム制作会社勤務・植田祐輔さん(2006年卒)

ゲームイラストやコミックが大好きで、在学中も熱心にそんな絵を描いていた植田さん。現在は株式会社「ピグミースタジオ」でオリジナルゲームの制作やプロデュースに携わっています。この会社ではiPhoneやmixiのアプリも制作しています。また、ゲームだけでなくweb制作もこなすクリエイティブな会社です。



株式会社 ピグミースタジオ >> <http://www.pygmy.jp>

美術の卒業生は今、こんなことをしています！

マンガ家・木元慶子さん(1993年卒)

木元さんは現在、大阪デザイナー専門学校に勤務しながら、マンガ家としても活動されています。

右のマンガは、作画を担当した「今様 聖徳太子 絵伝」。マンガで聖徳太子の歴史を紹介しています。大阪にある四天王寺が発行している広報誌『四天王寺』で連載中です。

木元さんのマンガが掲載中の『四天王寺』→

CHECK!

「聖徳太子 絵伝」とは？

聖徳太子の伝記を絵画化したものです。現存する最古の作例は1069年に秦致貞(はたちてい)が描いた旧法隆寺絵殿の障子絵(現東京国立博物館蔵屏風)です。

タイトルの「今様」は、「現代風の」「現代的な」という意味です。



(四天王寺 No.739 P5、P6より)

デザイン事務所経営・平尾恵郷さん(1994年卒)



平尾さんは2003年にスタジオ彩穂を設立。ビジュアルデザイン、web、映像、書籍の記事制作など様々なもの作りに携わる会社の代表として、自らもホームページの制作を担当するデザイナーとして活躍しています。

スタジオ彩穂 >> <http://www.studio-saiyo.com/index.html>

ギャラリー運営・小川温子さん(1993年卒)

JR加古川駅近くにあるギャラリー「ぎやらりー&サロン日本堂」の運営に携わっています。そこでは絵画、彫刻、写真などの作品発表だけでなく、ミニコンサートなど幅広いジャンルの発表の場として、たくさんの方の交流の場となっています。

ぎやらりー&サロン 日本堂 >> <http://nihondoo.jp>



彫刻家・森野政順さん(1993年卒)

森野さんは関西を中心に彫刻家として活躍されています。奈良県吉野郡にある「匠の聚(たくみのむら)」で制作活動しています。森野さんのHP >> <http://www.10.atpages.jp/~morino> 「匠の聚」 >> <http://www.takuminomura.gr.jp>



アロマセラピスト&会社経営・橘田可奈子さん(彫刻卒)

卒業後は、企業デザイナーとして商品企画・デザイン等に携わっていました。

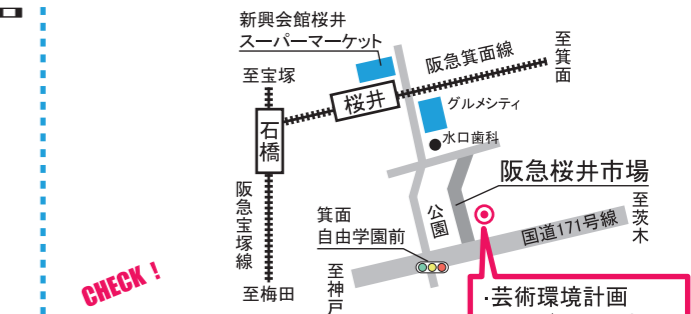
現在は、国際ライセンス保有のアロマセラピストとしてセラピストの育成やアロマコンダクター(香りの指揮者)として、企業における「香りのブランディング」をしています。演劇・ライブ・パフォーマンスイベント・アーティストプロモーション等「香りの演出」です。他にも、オリジナルのハンドメイドアクセサリー「voeux&co.」・YASUKO TAKEDA ~couture mariee~・St.ODIMにてクリエーターとしても活動されていて、プライダル誌等に作品が多数掲載されています。



Les coeurs nue(レスコアヌ) >> <http://earth.lescoeurne.jp>

現代芸術家&ギャラリー経営・篠原克治さん(1992年卒)

篠原さんは現代芸術家として現在も精力的に創作活動中。阪急箕面線桜井駅近くの桜井市場内に「芸術環境計画 かまぼこ&茶店 Ah」と、そのすぐ隣に「篠原商店」というギャラリーを運営しています。



CHECK!

芸術環境計画「かまぼこ&茶店Ah」〒562-0043 大阪府箕面市桜井2-10-5 桜井市場内(阪急桜井駅から徒歩5分) Tel&Fax: 072-725-3515

●芸術環境計画 かまぼこ&茶店Ah 以前かまぼこ屋さんだった空き店舗を利用したギャラリー兼カフェ。かまぼこ屋さんの内装をそのまま流用しているちょっとユニークな展示空間です。茶店Ahでおいしい食事やデザートを食べた後は、ギャラリーものぞいてゆったりした時間をすごしてみたいかがでしょうか？

●篠原商店 「芸術環境計画 かまぼこ&茶店Ah」のすぐ左隣のスペースを「篠原商店」として、主にオーナーの篠原克治さんらの作品を中心に発表していく予定です。